



くわた 恭子通信

<http://kyoko.moo.jp>

zxkyoko@yahoo.co.jp

[無所属]

発行日 R8年1月22日
 発行者 広島市議会議員
 くわた 恭子
 731-5153 佐伯区河内南2-30-2
 TEL929-2930 FAX929-2928
 OPEN 9時～15時(月～金)



1/9本会議、付帯決議案を
提案「現金給付が一番良い」

2.4面にフック

地域の皆様 お世話になります。市議会議員の ぐわに於てです。
令和8年、新しい年を迎えました。本年は平和で、災害のない一年で
あることを心から祈ります。

今年は、1月7日から3日間、臨時議会が開かれました。内容は、
 昨年11月くらいから話題になった物価高騰対策、いわゆる「お米」
 についてです。近隣の市町は、すでに配布されたところもあるの
 ですが、広島市は年内に結論が出せませんでした。広島市は、
 ファミリーマート商品券を発行します。発行時期は、半年以上先の
 8月です。広島市は物価高騰で一番困まっているのか、言いよ
 りません。ふんとも申し訳ない政策です。この今の広島市政...

④ 今年も（わ）り仕事をして（わ）ります。頑張ります。

1万円の元手が必要なプレミアム付き商品券

今の国民を守る、物価高騰対策を早急に講じると政府は、昨年11/28 18兆3千億円の補正予算を決定、広島市への配分は93億円、内68億5千万円がプレミアム商品券です

プレミアム付商品券発券の概要

- 1人1万円で1万5千円のプレミアム商品券を購入
1人5000円で7500円のプレミアム商品券が2口
まで購入できる。
- ①紙の商品券は、区役所やスーパーで申請書を
入手。またはインターネットで申請書を入手。
②引換券が送られてくる。
③引換券を持って、区役所、郵便局、スーパー
等でプレミアム商品券を購入。
④食料品店等を扱う商品券加盟店で利用できる。
- 「としポ」の場合はスマホで申請、としポアプリ
に1万円をチャージすると5000円のデジタル
商品券が購入できる。
- 使用開始時期は紙の商品券が8月、としポが5月。
- 使用期間は約半年、年度内とする。
- ※ 代理、家族まとめでの購入も検討する。
- ※ 発券の店舗、使用できる店舗は今後募集する。
- ※ としポとは、広島広域都市圏の地域ポイント
の事。現在、使用できる店舗は500事業所、
今後、増やしていく。

広島市は物価高騰で一番困っているのが誰なのかかわかっていません
県内市町でプレミアム商品券としたところはありません。現金給付や商品券、公共料金の値下げです。
今回の給付には、10億円の事務費と、半年以上の時間がかかります。
現金給付でも同額の事務費が必要ですが、支給は2カ月でできるとの答弁です。現金給付としないのは現金だとタンス預金に回り経済効果が小さい。プレミアム商品券なら市民、事業者双方を支援することが出来る最良の方法との説明です。
自らが行動しないと入手できない、1万円を出さないと恩恵にあずかれない。買えない方はどうするのか。
生活弱者といえども50000円的生活費は必要、それをプレミアム商品券に回すことはできると答弁。

現金給付が一番と付帯決議案を提出

商品券を変えない人は見捨てる政策

全市民が、利用できる制度設計としているとの説明ですが、買えない方は必ず出てきます。政令市中半分の10都市がプレミアム商品券としていますが、浜松市は65歳以上の方や住民税非課税世帯には3000円の商品券を配布するとしています。広島市はプッシュ型の支援策をしません。商品券が余った場合はどうするのかとの質問に、再募集を検討と答弁。買える方には何度も恩恵がある制度、予算は使い切るとの説明です。

物価高騰の交付金で「としポ」の普及啓発

今回の交付金を「としポ」の普及啓発に使う事は間違いです。アプリユーザー5万2千件としていますが、どれだけ稼働しているのか疑問。利用店舗も500事業所、これからチャージ機能を付けます。この利用者が77万人に激増するとの説明ですが、対策は広報の充実が主、今までも増えなかったのに出来るわけがない。

臨時議会中の委員会で「こんな事したらもうあんたに投票せん」と言われたとある議員が発言しました。市民の反応は厳しい意見ばかり歓迎はありません。本来、反対ですがプレミアム商品券すら否定してしまったら、広島市民には何の支援策もないことになることから議案には賛成しました。が、付帯決議を付けました。まず、現金給付を再度検討する事、「としポ」の普及啓発は別に検討する事。商品券配布を早く進めるため一部の会派から事業者選定を随意契約で行うべきとの意見があり、市が検討するとの答弁でしたので、止めるよう求めました。付帯決議は否決され別の商品券配布を迅速に進めよとの付帯決議が可決です。本当に残念、申し訳ない議会棟の廊下には、市長の政策に逆らわないという風が、議会のたびに吹く。

シャレオとエールエールが経営統合！他に方法がない

地下街シャレオと再開発ビルエールエールA館の経営改革プランとして持株会社化による経営統合を行う。R8年度の調査、業務委託費1億500万円を確保する債務負担行為を可決。2社の経営統合に向けた準備が始まった。

地下街シャレオ（広島地下街開発）とエールエールA館（広島駅南口開発）両社が100%出資する持株会社を設立、清掃、警備以外の全ての機能を持株会社に移管する。持株会社はテナント全般業務、広告宣伝などを専門の商業PM企業に委託する。福岡市、大阪市でも商業PM企業に委託し業績が改善しているという。スリム化を図り体制を強化し、魅力あるテナントを誘致する。R8年度、両社の株主総会で承認を取り持株会社の設立、運営開始を目指すとする。

他に方法がないなというのが率直な感想。経営統合としたのは、両社、借金が多すぎて合併ができない。シャレオの借入金177億円、エールエールは157億円。シャレオはR6年度は72億円の債務超過エールエールは地上権160億円を除くと債務超過の状況。持株会社後も借入金返済は個々に行い、シャレオが2.4億円エールエールは3.8億円返済していく。今までの経営改革は資金繰りの対処療法的なやり方であった。今回は商業PM企業も入りテナントの誘致など今までと違う改革になると説明したが、当座の運営費、施設改修の費用は広島市が支出するとしている。金額は未定。どこの民間もテナント誘致には苦労している。簡単ではない。今後の計画を注視して行かなければならない。

観音地区 道路陥没事故調査費用 30億円

R6年9月26日(木)、西区福島町で起きた市道陥没事故、この朝、トンネル内で異常な出水を確認、数分後に陥没が発生。最大深さ2m、上下水道管、ガス管、電線、通信ケーブル、信号機が破損。建物の損傷19棟、被害世帯は46世帯86人となった。

現場一帯は土地が低く、下水管も古いなどでたびたび浸水被害が発生。市は浸水対策重点地区とし、雨水管の整備を進めていた。計画では地下30mで大型掘削機を使って福島公園からJR横川駅北側までの延長3.5kmを掘り進み、直径5mの雨水管を整備する。25mプール180杯分もの雨水を貯蔵でき、太田川放水路に排出する。R10年3月の完成を目指しR6年2月から掘削していた。工事費約167億円、請負業者：清水建設、日本国土開発、広成建設の共同企業体となっている。



事故調査に係る費用を30億円とし復旧工事に1年を要した事、更に事故原因究明に2年を要するため3年間の工事延長の補正予算が提案可決した。全体工事費は197億円となり工事完了はR12年度末となる。

事故調査の30億円の使途については事故原因を究明するためには、地下30mのマシン内部の水や土砂を撤去し、内部に入り損傷状況を調査する。地下水の侵入を確実に止める凍結工法を採用、100本の凍結管を地下40mまで設置、1年間は凍結状態を維持。30億円は一旦市が支出するが、調査結果により受注者と負担を協議する。すでに、被害者の支援、被害建物の撤去など52億円を共同企業体が負担している。調査結果で按分もありうる

陥没現場は、旧福島川の埋立地、かつて川だった地層が、陥没に影響したのかも含め調査するとした

広島城天守の木造復元について 中間報告

現在の広島城天守は、昭和33年に広島復興大博覧会の一環で外観復元されたもの築60年以上経過している。広島城のあり方懇談会の意見を踏まえR3年3月、天守木造復元の実現可能性を高める調査、検討に取り組、R5年度には検討会議を設置した。検討会議では①木造復元②耐震改修による継続利用③天守の解体を基本とする整備の3案を検討。①木造復元を最有力との見解がだされ、総務委員会に中間報告された。仮に木造復元する



場合、最速でも供用開始がR31年度、23年後となる。工事費だけでも約195億円とされ、財源確保は今後検討。天守は耐震基準を満たしていないためR8年3月22日で閉館となる。

木造復元とは、当時を忠実に再現するという事か、復元の根拠となる資料が不足しているとの事だが問題ないのか復元された天守は、見学出来るのかトイレ、エレベーターなど設置できるのかなどの質問が出された。

「復元」でもトイレ、エレベーターなど、一定程度は整備できると答弁不足する資料については、追加調査や収集が必要との事だった。

木造復元が本当に必要なのか疑問。閉館後も外観の剥落や屋根材の落下に対する対策を取り、外観をしっかり保持していく事や、R8年度末に開館する広島城三の丸歴史館でVR、ARなど最新技術を活用し創建当時の姿を体験できる取り組みを進めるとの答弁があり、その方法で良いのではと思う

広島いきいき人生ノート

広島市が、エンディングノートを作り1月15日市役所講堂で終活セミナーを開催した。多くの市民の方々が参加、関心が高いのだと感じました。セミナーの中でエンディングノートは自分の終活や「死」についての考え方や希望を整理し、家族や第三者と共有するための設計図。自身が情報伝達が、できない状態になっても、残された人たちの負担軽減につながり、納得感をもって行動に移すことができる。例えば本人に代わって家族が決断しなければならぬ事態。延命治療をどこまでするのかなどは、子供でもなかなか言いにくいもの、文字で本人の気持ちが残されていると、家族も安心して決断できますと説明されていました。元気なうちに、書けるところから、書かないところがあってもよい、始めてみましょう



ノートは公民館にも
ありまして、中に
シールが入っています
ぜひ書いてノートに
あることを示すものや
支那紙などに貼ってね

市長、議員のボーナス値上げに反対

12月議会は、毎年職員の給与改定が出される。月例給で11,391円の増額が4月まで遡って、3月の期末手当で増額される。ボーナスについても0.05か月分の増額

民間給与①	39万8,044円	①-②
職員給与②	38万6,653円	11,391円
民間ボーナス	4.65月分	0.05月分
職員ボーナス	4.60月分	

給与改定の補正額42億6837万円



くわた恭子のホームページ
この通信は会派の承認を得て
発行しています。

1/16現在 お米券を巡る市町の対応

1面続き

広島市	5千円分のプレミアム付商品券を1万円で購入する。広島広域都市圏ポイント「としぽ」に1万円入金デジタル商品券を入手できる
呉市	水道基本料金4カ月免除
竹原市	市内で使える商品券を配布 べいべいでも使用できる
三原市	8千円分の商品券を配布
尾道市	5千円の現金給付。住民税非課税世帯は5千円を加算
福山市	5千円分の商品券配布。住民税非課税世帯の人は5千円を加算
府中市	8千円商分の品券を配布
三次市	1万1千円の商品券を配布
庄原市	市内で普及する「なみか・ほろか」のポイント1万円分付与
大竹市	市内で使える1万円分のクーポン券を配布
東広島市	現金5千円を給付する方針
廿日市市	現金3千円を給付。住民税非課税世帯には3千円を加算
安芸高田市	現金1万円を給付
江田島市	市内で使える商品券を配布を検討
府中町	検討中
海田町	3千円分の商品券を配布
熊野町	1世帯に、町内で使える1万8千円のクーポン券を配布
坂町	現金5千円を給付
安芸大田町	地域通貨「もりか」の電子マネーを支給する方針
北広島町	1万円の商品券配布
大崎上島町	商品券かクーポン券を検討中
世羅町	1万円の商品券配布
神石高原町	町内で使える商品券配布

1/16現在、市町の対応を調査、元手が必要な市町は広島市だけです。ある市の財政課長さんは、プレミアム商品券だと買わないと入手できない。今回は物価高騰対策なので全市民に商品券を配ることを選んだと話されていた。

市長、副市長、議員の給与は条例で定めてあるので職員の給与改定は影響しない。が、ボーナスについては、職員と連動して増額となる。市長等と議員のボーナスを据え置く修正案が出されたので賛成した。支給月数だけを比較する職員ボーナスも実際の支給額は、民間が約161万円、市職員が約181万円と職員が高額である。議員は基本給に2割の加算も含まれている。増額の必要は無い。ただ修正案は否決された。